



平成25年度福岡県移住者子弟留学生8名が帰国

平成25年度の移住者子弟留学生8名が、福岡での1年間の留学生生活を終え、帰国の途に着きました。

帰国に先立ち、3月15日(土)に、お世話になった先生方や関係者の方々をお招きして、留学証書授与式・送別会を行いました。留学生は、この留学を通して学んだことなどを発表しました。出席者とともに、1年間を振り返りながら別れを惜しみました。平成25年度の留学生の報告書はホームページに掲載していますので、ぜひ、ご覧下さい。



【お世話になった皆さんと記念撮影】

メキシコ、シアトル・タコマ、南加福岡県人会を訪問

昨年10月に開催された「第8回海外福岡県人会世界大会」において、青少年やビジネスなど様々な分野での交流を進め、ネットワークの強化に努めることが議論されたことを受けて、1月上旬から中旬にかけて、当センターの高崎事務局長が、メキシコ福岡県人会、シアトル・タコマ福岡県人会、南加福岡県人会を訪問しました。

メキシコは、次回(第9回)世界大会の開催地であり、県人会役員の方々と意見交換を通じて、開催に対する認識を共有することができました。また、日本とメキシコの文化交流の殿堂として建設された日墨会館をはじめ、会場や視察先の候補地を訪問しました。

シアトル・タコマでは、県人会から提案のあった2012年の九州北部集中豪雨で被災した八女市の中学生受け入れについて協議を行いました。また、青少年交流ほか福岡県との連携についても、積極的な意見交換を行うことができました。



【シアトル・タコマ福岡県人会の皆さん】

南加(ロサンゼルス)では、県内青年の派遣受け入れや各界で活躍する県出身者等によるセミナー開催など、新たに取り組む予定の事業に対し、非常に前向きな意見をいただきました。

各県人会からは、昨年の世界大会における福岡でのおもてなしに対する感謝の言葉をいただきました。

訪問に際してご尽力いただきました各県人会の皆様へ改めて感謝申し上げます。



【メキシコ福岡県人会の皆さん】



【南加福岡県人会の皆さん】